

編集後記

- 「なんで自分だけ注意されるの……」。子どもたちは不満そうな顔や反抗的な目をして、時には怒りを爆発させて、その言葉を口にします。注意されてもしかたない行為をしていても、不公平な扱いに敏感です。特集1で「注意というものが、もともと公平ではないことを事前に子どもに説明しておく」という対応法が紹介されています。「代表注意」という名前をつけて、「たまたま、特に目についた〇〇君を代表して注意したのだ」と説明しておくのです。この「代表注意」という言葉が子どもたちの間に広がれば、不公平感はずいぶんやわらぎそうです。
- 私の小中学校時代の同級生にも場面緘黙の子がいたのですが、その子とうまく友達づきあいができませんでした。特集2で紹介されているような知識を当時の担任の先生が持ち、対応してくれていたなら、私とその子との関係は違うものになっていたのではと感じました。(こ)

次号のお知らせ

特集1 子どもに届ける「ちょっといい話」の集め方、伝え方
授業の導入や相談だより・学級通信などで、時事ネタや豆知識といった「ちょっといい話」を紹介する先生も多いでしょう。こうした「いい話」のを見つけ方や、子どもたちへの伝え方について考えます。

特集2 簡単な描画法を使った子どもとのかかわり

描画法を子どもにやってもらうことで、言葉で内面を表現するのが苦手な子の理解が深まったり、描画を媒体に子どもとの関係がよくなったりすることがあります。学校で使える描画法を紹介します。



月刊学校教育相談

2018年 平成30年 12月号

定価 800円 (本体 741円)

2018年12月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板



・『月刊学校教育相談』2019年1月増刊号の編集が進んでいます。テーマは『コーチングで学ぶ「言葉かけ」練習帳』です。学校教育に積極的にかかわるコーチングのプロである石川尚子先生が執筆。「～しなさい」と言わなくてもいい言葉は？「がんばって！」を言い換える言葉は？「やりたいことがわからない」と言う子どもにかけられる言葉は？ 自信がない子どもの背中を押す言葉は？……コーチング理論に基づいたポイントに沿って、「言葉かけ」が練習できる構成です。お楽しみに！
*増刊号の配本が漏れている方は書店にお尋ねください。

● 本誌の2018年4月号からの1年間の誌代は12,080円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。



文書ファイル配布

ページ下にこのマークが入っている☆詳しくは奥付を！資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索